

所長だより第87号 令和8年 5月 15日

希望の船

We love BIWAKO

「みずうみに学んで世界の明日をひらく人」

滋賀県立びわ湖フローティングスクール
〒520-0047 大津市浜大津5丁目1番7号
<https://uminoko.jp/>

令和8年度「うみのこ」出航 【所長 川岸哲也】

4月22日（水）、大津市の琵琶湖大橋港において、日野町教育委員会教育長様、4校の代表の先生方をはじめ、多くの来賓の方に参加いただき、「湖の子」出航式を執り行いました。日野町立日野小学校、西大路小学校、南比都佐小学校、桜谷小学校の4校、126名の児童が期待に胸を膨らませながら、1泊2日の航海をスタートさせていました。2名の代表の児童が、「学校では経験できないようなたくさんさんの活動にワクワクしています。」「私たちが大切にしているびわ湖について、たくさん学べるこ



がとても楽しみです。」という話をしてくれ、期待感がこちらにまで伝わってきました。長らく待ちわびた「うみのこ」にワクワクした気持ちと初めての船・初めて出会う友達・他校の先生方の中で何とも言えない緊張が入り混じった表情をしている子どもたちの姿を見ていますと、心から「子どもっていいなあ」と思いました。

昭和58年から実施していますフローティングスクールも、今年度44年目の春を迎え、これまで64万人以上の児童が「うみのこ」へ乗船してきました。滋賀県の人口を約140万人としますと、滋賀県民の45%以上の方が乗ってきた計算になります。乗船児童の保護者の皆さまとお話する機会をいただきますと、多くの方が入学したころから「5年生で『うみのこ』に」「6年生で『修学旅行』に」と、子育ての大きな目安や目標としていただいていることがよく分かります。県民の皆さま方の中に、これほど根付く事業となってきたことを考えますと、これまでご指導いただいた乗船校の先生方をはじめ、様々な場面で力を尽くしてくださってきた多くの関係者の皆さまに感謝するとともに、前述の児童の姿と相まって、今後とも安全で充実した航海を続けなければいけないと改めて感じるところです。

今年度は、全102回の児童学習航海と未乗船児童対象の「湖の子」体験航海2回、関西広域連合所属の府県の親子を対象とした「うみのこ」親子体験航海を2回の合計106航海を実施します。今年度も安心安全で充実した航海となりますよう、フローティングスクール職員一同全力で取り組んでまいります。引き続き、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

